



令和 6 年 2 月 22 日

**子宮頸がん予防のために、わたしたちにできること
～岡山大学における HPV ワクチンキャッチアップ接種の
接種後副反応調査結果の報告～**

◆発表のポイント

- ・ 2023 年 8 月から岡山大学の学生・教職員への HPV ワクチンキャッチアップ接種を実施しており、接種後副反応調査の結果をまとめました。
- ・ HPV ワクチンキャッチアップ接種事業は 2025 年 3 月で終了予定であり、公費負担で接種を完遂するためには 2024 年 9 月までに接種を開始する必要があります。
- ・ 接種対象者やその周囲の方が接種後の副反応調査結果を知ることで、接種やがん検診受診などの子宮頸がん予防行動について考え、行動する機会になることが期待されます。

岡山大学では 2023 年 8 月から岡山大学病院総合内科・総合診療科、感染症内科および産科婦人科の医師の協力のもと、岡山大学病院総合トリアージステーションにて本学学生・教職員を対象とする HPV ワクチン接種を実施しました。2024 年 1 月 22～24 日で 3 回目の接種を無事終了し、1～3 回目接種までの接種後副反応調査結果がまとまりましたので報告いたします。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス感染によって起こり、発症ピークは 30～40 代です。日本では多くの若い働き盛りの女性や子育て世代の女性が、子宮頸がん罹患して妊娠ができなくなったり、後遺症を抱えたり、命を失っており、深刻な状況にあると言えます。HPV ワクチンは HPV 感染を予防するだけでなく、子宮頸がん発症の予防効果があることも明らかになっています。

日本では、2022 年 4 月～2025 年 3 月末までの 3 年間、公費での接種が受けられるキャッチアップ接種が行われています。岡山大学では、2023 年 6 月に実施した学内アンケート調査の結果を踏まえ、キャッチアップ接種対象者が多く所属している大学の責務として接種の機会を設けることが必要と考え、学生・教職員への HPV ワクチン接種を実施し、接種後副反応調査を行いました。接種対象者やその周囲の方が本調査結果を知ることで、接種やがん検診受診などの子宮頸がん予防行動について考え、行動する機会につながることを期待されます。

◆担当者からのひとこと

子宮頸がん予防には、HPV ワクチンとがん検診が重要です。HPV ワクチンの接種費用が公費で負担されるキャッチアップ接種は、あと 1 年で終了する予定なので、対象の方は早めにご検討ください。



岡山大学学術研究院医歯薬学域
周産期・小児救急医療学講座
小川 千加子 准教授



岡山大学保健管理センター
樋口 千草 准教授



PRESS RELEASE

無料でワクチン接種が受けられるのはあと1年です！
また岡山大学病院「渡航ワクチン外来」では、HPV ワクチンだけでなく、海外で流行している様々な感染症のワクチン接種や健康面での相談にも応じていますので、ぜひご利用ください。



岡山大学病院 感染症内科
萩谷 英大 准教授

■発表内容

日本では、2022年4月～2025年3月末までの3年間 HPV ワクチン接種のキャッチアップ接種が行われています。岡山大学では、2023年6月に実施した HPV ワクチンに関する意識・接種希望調査の結果を基に2023年8月から2024年1月24日までの期間に、岡山大学病院総合内科・総合診療科、感染症内科および産科婦人科の協力により、本学学生・教職員を対象とする HPV ワクチン接種を全3回実施し、接種後副反応調査を実施した結果をまとめました。

※上記期間中に接種できなかった対象者には、岡山大学病院「渡航ワクチン外来」（感染症内科）での接種も行いました。

岡山大学では、HPV ワクチンを接種するかどうかを自分で判断できるよう正確な知識の提供や、接種前の不安や接種後の症状について気軽に相談できる体制整備に努めており、残り1年のキャッチアップ接種期間により多くの希望者に接種を完遂できるよう引き続き接種の機会提供を行っていきます。

HPV ワクチンの接種対象者やその周囲の方が本調査結果を知ることで、ワクチン接種やがん検診受診などの子宮頸がん予防行動について考え、行動する機会につながることを期待されます。

■調査結果

別添資料参照

■研究資金

HPV 予防接種拠点病院整備事業

<お問い合わせ>

岡山大学 保健管理センター

准教授 樋口 千草

(電話番号) 086-251-7217

(FAX) 086-251-7222

